

租税戦略 GRI 207-1

花王は、税の透明性を確保し、各国・地域の税務に関する法令・規則などの遵守を徹底しています。また、適切な税務処理に関する各種教育を行い、一人ひとりが税務コンプライアンス意識を高めています。

社会的課題

花王は、各国の関連法令及び規定に則った健全な税務管理・納税を行うことが、その国の経済・社会発展に重要な役割を果たすことになると考えています。また、OECD による Base Erosion and Profit Shifting (BEPS) プロジェクト等の国際的な取り組みが、税の透明性確保や国際的な租税回避を防止するために重要であると理解しています。例えば、グループ会社間の国際取引は、機能、資産及びリスクの分析に基づき、その貢献に応じた適切な利益配分を独立企業間価格に基づいて設定すると共に、その独立企業間価格の算定においては、OECD 移転価格ガイドラインの遵守に努めています。



OECD: Corporate Tax Statistics 2023
https://www.oecd-ilibrary.org/taxation/corporate-tax-statistics-2023_f1f07219-en

方針

花王の理念である「正道を歩む」に基づき、税務方針を次のように制定しています。

・税務ガバナンス

各国の税制や行政の運用に適時対応し、早期の税務リスクの発見と対応を可能とする運営体制を構築し、

企業価値向上のためのリスク管理を行います。

・税務コンプライアンス

租税に関連する法令遵守を徹底します。また、税務調査の要請があれば、税務当局に対して適時かつ適切な情報開示を行い、誠実に対応・協力することで信頼関係を構築します。

・国際的な税務フレームワークへの取り組み

各国税法を遵守すると共に、国際的な取り組みの主旨に則った税務管理を行い、税に関する透明性を確保します。

・タックスプランニング

事業目的に沿って海外進出先やグローバルな事業体制を決定することとしており、タックスヘイブン等を利用する恣意的な租税回避及び濫用的なタックスプランニングを行いません。

・税務リスクの低減

事前に発見・予見された税務リスクは、制度上利用できる措置を用い、積極的にこれを低減します。詳細は以下の「税務方針」をご参照ください。



税務方針
https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/investor-relations/pdf/governance_004.pdf

戦略

リスクと機会

リスク

法令等の趣旨を逸脱する解釈・適用による不適切な納税を行った場合、また、過度な節税策により課税の公平性を損なった場合は、生活者・顧客からの企業への社会的信頼を喪失するリスクがあると考えています。

機会

各国の関連法令及び規定に則った健全な税務管理・納税を行うと共に、適切な開示を実施してステークホルダーへの説明責任を果たすことで、企業の信頼感を醸成できると考えています。

戦略

グローバル企業としての移転価格等のポリシーと運用規定等を整備し、それらがグループ会社や関連部門に周知・浸透され、各国の課税リスクが最小化されるしくみを確立します。

世界的な潮流であるBEPS2.0について、多国籍企業に対して最低税率の導入をめざす第2の柱 (Pillar2) に適切に対応します。市場国に対する一定の利益配分をめざす取り組みである第1の柱 (Pillar1) に関しても、各国

租税戦略

GRI 207-1, 207-2, 207-3

の動向を注視しながら必要な対策を検討しています。

社会的インパクト

新興国・発展途上国における事業活動から生じた所得について、現地の課税権を侵害せず、各国・地域の関連法令及び規定に則った健全な税務管理を行い、適切に納税することで課税の公平性が確保されると考えています。事業目的・実態の伴わないタックスプランニングやタックスヘイブンの利用は各国・地域における適正な税金の納付を阻害する要因であると理解しています。

貢献するSDGs



事業インパクト

法と倫理に則って行動し適切な納税を行うこと、及び誠実で健全な事業活動を通じて生活を豊かにする社会的価値の創造に貢献することで、結果的にブランドや企業の成長につなげることができると考えています。

法令等の趣旨を逸脱する解釈・適用による不適切な納税を行った場合、追徴課税等による財務面への影響だけでなく、企業価値の持続可能性が損なわれる可能性

もあると考えています。

ガバナンス

体制

会計財務部門統括を責任者とし、管理部税務会計グループ及び各国・地域の税務担当者が実務を行います。四半期ごとに各国・地域の税務担当者と情報を共有し、現状及び将来の税務リスクの把握を行い問題解決に努めています。定期的に各国・地域の税務問題を収集し現状を把握することで、緊急の税務問題について適時情報が届く体制になっています。加えて、解決方法を外部専門家も交えて連携しながら対応する体制が構築されています。

また、これらの税務問題や税務戦略のうち、重要なものについては、定期的に行われている経営会議で報告又は審議され、取締役会に報告されています。加えて、税務方針については取締役による承認を得ています。

P25 Our ESG Vision and Strategy > ガバナンス

経理・財務のグローバルな連携

定期的に、グローバルの経理・財務リーダーが参加する会議を開催しています。その中で、各海外子会社の税務担当者とコミュニケーションをとりながら、全社方針の共有や徹底、新たな税務論点の議論を行っています。

教育と浸透

花王は、税務コンプライアンス体制が適切に機能するためには、経営層及び社員の税務コンプライアンス意識の浸透・定着を進めることが重要であると考えています。

適切な税務処理に関する他部門向けの基礎教育講座の実施や日常的な業務の疑問を例題にしたQ&Aを社内ポータルへ掲載する等の教育・啓発、各種情報共有や相談を行い、法令遵守を徹底すると共に、税務リスクの低減に努めています。

ステークホルダーとの協働

花王は、税務当局に対して適時かつ適切な税務情報提供を行い、誠実に対応することで信頼関係の構築に努めています。税務リスクの低減のために、税務当局や外部の税務アドバイザーに適時相談し税務処理の適切性について検討しています。

また、業界団体を通じて経済界と協調し、日本企業の国際競争力の強化に貢献する税制改正要望にも取り組んでいます。

一般社団法人 日本化学工業協会との協働

日化協を通じ、税務実務効率化や企業競争力強化に資する税制改正要望に積極的に取り組んでいます。

租税戦略 GRI 207-2, 207-4

リスク管理

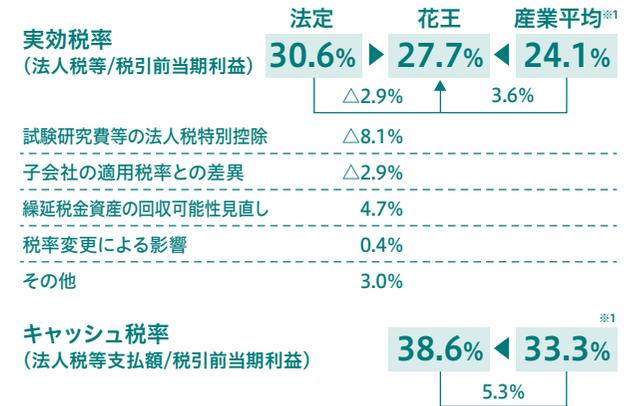
花王は管理部税務会計グループが関連部門やグループ会社と連携し、適時の情報収集を行うことで税務リスクの早期発見と最小化を図っています。そのプロセスの中で税務リスクを識別した場合は、速やかに対応を実施すると共に、必要に応じて外部専門家へ助言を求めようとしています。重要な税務リスクについては社内決裁基準に基づき承認を得ています。

P40 Our ESG Vision and Strategy > リスク管理

実現しています。なお、繰延税金資産の回収可能性見直しによる影響及びキャッシュ税率の花王と産業平均の差の主な要因は事業の構造改革等に起因するものです。

また、第二の柱(Pillar2)により影響を受ける見込みの法人所得税の金額は軽微です。

2023年 実効税率差異の分析



※1 Household & Personal products

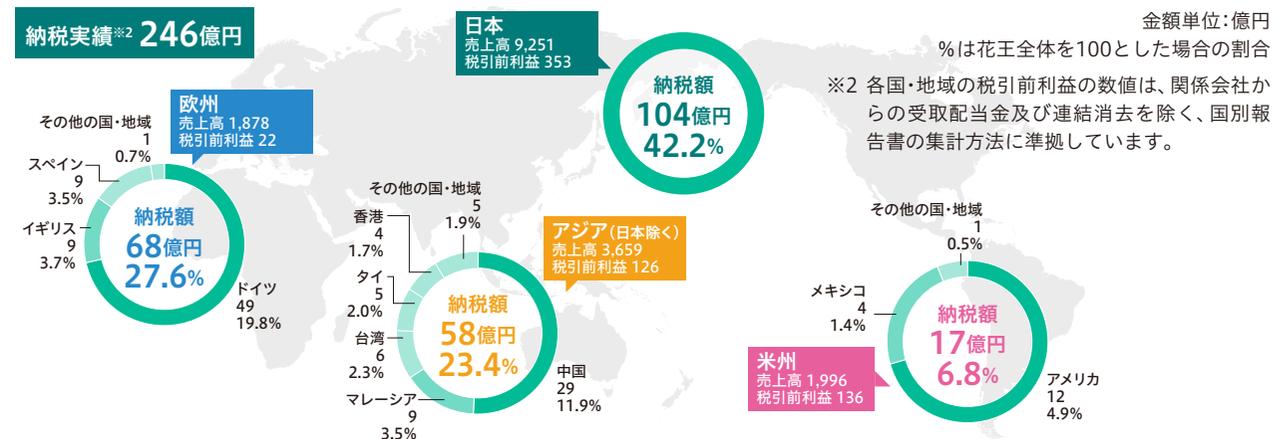
指標と目標

中長期目標と2023年実績

事業実績と納税実績

2023年度の花王の実効税率は27.7%でした。法定実効税率との差-2.9%は、主に日本における試験研究費の法人税特別控除の影響、海外子会社との適用税率の差異及び繰延税金資産の回収可能性見直しに起因するものです。同様にS&P Global社が発行する産業平均実効税率との差は3.6%となっており、適切な納税をしていると考えられます。

同様に、納税額を税引前当期利益で除したキャッシュ税率についても、支払いタイミング等の影響があるものの、産業平均に対して+5.3%と適切な水準の納税を



租税戦略

GRI 207-4

2023年 花王の事業実績と納税実績※1

(単位：億円)

	売上高	税引前利益	納税額	未払法人税	従業員数：人
日本	9,251	353	104	119	(22,486)
中国	1,147	-3	29	5	(1,344)
インドネシア	739	41	2	4	(1,974)
タイ	534	27	5	4	(1,300)
マレーシア	546	29	9	1	(494)
フィリピン	371	-36	0	0	(201)
台湾	370	32	6	5	(694)
シンガポール	216	14	2	2	(148)
香港	175	22	4	2	(198)
ベトナム	78	-2	1	0	(396)
その他の国及び地域内消去	-518	0	0	-	(27)
アジア	3,659	126	58	23	(6,776)
ドイツ	853	-29	49	2	(1,112)
スペイン	554	25	9	0	(598)
イギリス	300	14	9	1	(851)
スイス	92	4	0	1	(111)
オランダ	53	2	0	-	(152)
イタリア	47	2	0	1	(50)
フランス	24	1	0	0	(18)
オーストリア	13	2	0	0	(33)
その他の国及び地域内消去	-58	2	0	1	(169)
欧州	1,878	22	68	6	(3,094)
アメリカ	1,662	118	12	1	(1,377)
メキシコ	199	11	4	0	(230)
オーストラリア	95	1	0	0	(169)
カナダ	86	3	0	2	(104)
ブラジル	23	3	1	0	(16)
その他の国及び地域内消去	-68	0	0	-	(5)
米州	1,996	136	17	3	(1,901)
地域間消去ほか	-1,458	3			
総計	15,326	638	246	151	(34,257)

※1 各国・地域の税引前利益の数値は、関係会社からの受取配当金及び連結消去を除く、国別報告書の集計方法に準拠しています。

租税戦略

各国・地域の納税主体となる会社の一覧表※1

納税管轄地	会社名	主な事業内容
日本	花王株式会社	花王製品のブランドオーナー(ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業、ライフケア事業、化粧品事業、ケミカル事業)
	株式会社カネボウ化粧品	カネボウ製品のブランドオーナー(化粧品事業)
	花王サロンジャパン株式会社	ヘルス&ビューティケア事業
	花王ビューティプラズカウセンリング株式会社	化粧品事業
	花王クエーカー株式会社	ケミカル事業
	花王サニタリープロダクツ愛媛株式会社	ハイジーン&リビングケア事業
	伊野紙株式会社	ハイジーン&リビングケア事業
	花王製紙富士株式会社	ハイジーン&リビングケア事業
	花王システム物流株式会社	提案営業活動とオペレーション設計
	花王プロフェッショナルサービス株式会社	ライフケア事業
	モルトンブラウンジャパン株式会社	化粧品事業
	株式会社エキップ	化粧品事業
	花王ビジネスアソシエ株式会社	人事、総務、経理等に関する各種サービス業務
	花王ピオニー株式会社	各業務の請負及び受託(家庭用製品及びその試作品の製造等)
	花王コスメプロダクツ小田原株式会社	化粧品事業
	SENSAI コスメティックス株式会社	化粧品事業
	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
	花王ロジスティクス株式会社	花王製品の在庫管理・発送
	キラリアハイジーン株式会社	ライフケア事業
	インドネシア	ピーティー花王インドネシア
ピーティー花王インドネシアディストリビューション		ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
ピーティー花王インドネシアケミカルズ		ケミカル事業
オーストラリア	花王オーストラリア ピーティワイリミテッド	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
	ボンダイサンズ ホールド	持ち株会社
シンガポール	ボンダイサンズ オーストラリア	ヘルス&ビューティケア事業
	花王シンガポール	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業、化粧品事業、ケミカル事業
タイ	クレスセントインシュランス プライベート リミテッド	花王グループ会社の再保険の引き受け
	花王インダストリアル(タイランド)カンパニー リミテッド	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業、ケミカル事業
	花王ホールディングス(タイランド)	持ち株会社
	花王コンシューマープロダクツ(東南アジア)株式会社	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
ニュージーランド	タイカネボウ化粧品 LTD.	化粧品事業
	花王ニュージーランド リミテッド	ヘルス&ビューティケア事業
フィリピン	ピリピナス花王インコーポレーテッド	ケミカル事業
	ピーケーアイ コマーシャル株式会社	ケミカル事業
ベトナム	花王ベトナム カンパニーリミテッド	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
	花王マレーシア スンダリアン ベルハット	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
	花王トレーディング(マレーシア) スンダリアン ベルハット	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
	ファティ ケミカル(マレーシア) スンダリアン ベルハット	ケミカル事業
	花王ソープ(マレーシア) スンダリアン ベルハット	ヘルス&ビューティケア事業
マレーシア	花王オレオケミカル(マレーシア) スンダリアン ベルハット	ケミカル事業
	花王プラスチサイザー(マレーシア) スンダリアン ベルハット	ケミカル事業
	カネボウ化粧品マレーシア スンダリアン ベルハット	化粧品事業
韓国	カネボウコスメティクスコリア Co.,Ltd.	化粧品事業
香港	花王(香港)有限公司	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業、化粧品事業
	ケイビーエスエー コスメティックス(香港)	ヘルス&ビューティケア事業
台湾	花王(台湾)股份有限公司	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業、化粧品事業、ケミカル事業
	台湾鍾紡化粧品股份有限公司	化粧品事業
	ケイビーエスエー 台湾	ヘルス&ビューティケア事業
中華人民共和国	上海花王有限公司	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
	上海花王化学有限公司	ケミカル事業
	花王(上海)産品販売有限公司	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業、化粧品事業
	花王(上海)貿易有限公司	ケミカル事業
	花王(中国)投資有限公司	中国における関係会社の統括(ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業、化粧品事業、ケミカル事業)
	花王(中国)研究開発中心有限公司	ヘルス&ビューティケア事業、ハイジーン&リビングケア事業
	佳麗宝化粧品(中国)有限公司	化粧品事業
	花王(合肥)有限公司	ハイジーン&リビングケア事業
	花王葫蘆島鑄造材料有限公司	ケミカル事業
	花王(上海)化工有限公司	ケミカル事業
花王(上海) 商務咨询有限公司	化粧品事業	

納税管轄地	会社名	主な事業内容
イギリス	モルトン・ブラウン リミテッド	モルトンブラウン製品のブランドオーナー(化粧品事業)
	花王(UK) リミテッド	ヘルス&ビューティケア事業
	ウォッシングシステムズ リミテッド	ライフケア事業
	ケイビーエスエー UK	ヘルス&ビューティケア事業
	ボンダイサンズ ヨーロッパ	ヘルス&ビューティケア事業
イタリア	カネボウコスメティクスイタリア S.P.A.	化粧品事業
	花王イタリア S.P.A.	ヘルス&ビューティケア事業
オーストラリア	花王オーストラリア ハンデルスゲゼルシャフトエムペーハー	ヘルス&ビューティケア事業
オランダ	グールイクパナ オランダ	ヘルス&ビューティケア事業
	花王ビジネスサービス	花王グループサービス
スイス	花王ネザーランド ビーブイ	ヘルス&ビューティケア事業
	カネボウコスメティックスヨーロッパ リミテッド	化粧品事業
スウェーデン	花王スイス AG	ヘルス&ビューティケア事業
	花王スウェーデン	ヘルス&ビューティケア事業
スペイン	花王コーポレーション エスエイ	ケミカル事業
	花王ケミカルズ ヨーロッパ エスエル	ケミカル事業
チェコ	花王チミグラフィ	ケミカル事業
	ゴールドウェル コスメティックス チェコ	ヘルス&ビューティケア事業
デンマーク	花王デンマーク エーエス	ヘルス&ビューティケア事業
ドイツ	花王ジャーマニー ゲーエムペーハー	サロン製品のブランドオーナー(ヘルス&ビューティケア事業)
	グールイクパナ ゲーエムペーハー	ヘルス&ビューティケア事業
	花王ケミカルズ ゲーエムペーハー	ケミカル事業
	花王 マニュファクチュアリング ジャーマニー ゲーエムペーハー	ヘルス&ビューティケア事業
ノルウェー	カネボウコスメティックス ジャーマニー ゲーエムペーハー	化粧品事業
	花王ノルウェー	ヘルス&ビューティケア事業
フィンランド	花王フィンランド	ヘルス&ビューティケア事業
	花王フランス サール	ヘルス&ビューティケア事業
フランス	花王チミグラフィ フランス	ケミカル事業
	花王ベルギー エスエイ	ヘルス&ビューティケア事業
ベルギー	花王ベルギー エスエイ	ヘルス&ビューティケア事業
ロシア	カネボウコスメティックスロシア L L C	化粧品事業
南アフリカ	花王南アフリカ ピーティワイ リミテッド	ヘルス&ビューティケア事業
	花王USA インク	マス製品のブランドオーナー(ヘルス&ビューティケア事業、化粧品事業)
アメリカ	HPCリアルティ	資産管理会社
	オークブルックエンタープライゼス	資産管理会社
	花王アメリカ インク	米国における関係会社へのコーポレートサービス及び米国ケミカル事業の持ち株会社
	花王ケミカルズ アメリカズ コーポレーション	ケミカル事業
	ハイポイント テキスタイル オーグジリアリーズ 有限会社	ケミカル事業
	花王スペシャルティーズ アメリカズ エルエルシー	ケミカル事業
	モルトン・ブラウン USA エルエルシー	化粧品事業
	花王コリンズ インク	ケミカル事業
	サムガム エルエルシー	資産管理会社
	オリムペアクア LLC	ヘルス&ビューティケア事業
スター(デラウェア)リアルティ エルエルシー	資産管理会社	
カナダ	ウォッシングシステムズ アイエイチディ インク	持ち株会社
	ウォッシングシステムズ エルエルシー	ライフケア事業
	サンテックプロダクツ エルエルシー	ライフケア事業
	WSI ウォーター エルエルシー	ライフケア事業
	カスタムケミカルソリューションズ エルエルシー	ライフケア事業
ブラジル	パイオハイジーンニクス エルエルシー	ライフケア事業
	ボンダイサンズ(ユーエスエー)	ヘルス&ビューティケア事業
メキシコ	花王カナダ インク	ヘルス&ビューティケア事業
	花王ブラジル	ケミカル事業
メキシコ	TBP	ヘルス&ビューティケア事業
	キミ花王エスエイ デシーバイ	ケミカル事業
メキシコ	ジャーゲンズメキシコ S. de R. L. de C.V.	ヘルス&ビューティケア事業

※1 2023年12月末時点の情報

Our ESG Vision and Strategy

企業理念の実践

自分らしく暮らすために

選択を社会のために

地球のために

正道を歩む

Our Foundations

Appendix

Our Priorities - Kirei Lifestyle Plan